

2022.3.13【全然堂歳時記春【桜】】選27句

咲き満ちて降臨を待つ桜かな

曲がりゆく川と堤と桜かな

花びらとなつて飛び立つ桜かな

その中に一本若き桜かな

いつせいに彼岸を目差す桜かな

長き枝の長きを枝垂れ桜かな

超然と歳月に立つ桜かな

島国の山河喜ぶ桜かな

枝垂れても枝垂れなくても桜かな

破裂して風船消ゆる桜かな

咲き満ちて巖のごとき桜かな

呆然と咲いてゐるのは桜かな

女房も一つ年取る桜かな

ぼつてりと夜を孕みし桜かな

尿して子らが逃げゆく桜かな

咲き満ちて月にまみゆる桜かな

今はもう住めば都の桜かな

雪水で電気を作る桜かな

村々の小学校の桜かな

この先は闇へと続く桜かな

アスファルト乾き初めたる桜かな

また一つ篝の消ゆる桜かな

沖遠くタンカー見ゆる桜かな

朝方の雨の上りし桜かな

昼は鳥夜は猫鳴く桜かな

一夜明け雪に枝垂るる桜かな

花びらが花びらを追ふ桜かな

沖遠くタンカー見ゆる桜かな

夕暮の冷たき雨の桜かな

山の湯の夜を満開の桜かな

ぼつてりと妊る夜の桜かな

雲のごと冷えて薄墨桜かな

小夜更けて湯殿灯りし桜かな

枝垂れても枝垂れなくても桜かな

曲がりゆく川と堤と桜かな

ゆれるだけゆれて危き桜かな

咲き満ちて今日の良き日の桜かな

曲がりゆく川を縁取る桜かな

自転車を全力で漕ぐ桜かな

大川とビルの間の桜かな

富士が見え川が流れて桜かな

鯉の背のぬるりと過ぎし桜かな

おのづから時の満ち来る桜かな

さらさらと小川流るる桜かな

花びらとなつて飛び立つ桜かな

歳月のますます早き桜かな

みちのくのその山奥の桜かな

桃よりも軽々と咲く桜かな

呆然と咲いてゐるのは桜かな

咲き満ちて巖のごとき桜かな

洛外に雷雲を呼ぶ桜かな

書割の如き空ある桜かな

会へば友と積る話の桜かな

子らが吾にまとはり付きし桜かな

今日からは朝な夕なの桜かな

鉄橋を塗り替へてゐる桜かな

風止んで時の止りし桜かな

街灯のなかなか点かぬ桜かな

落城の後いくたびの桜かな

立ち昇る煙は空に桜かな

湯を出てまだ暮れきらぬ桜かな

2022・ω・21【全然堂歳時記春【桜2】】選21句

² 鉄橋を塗り替へてゐる桜かな ² ぼつてりと夜を孕みし桜かな

² 超然と歳月に立つ桜かな ² 咲き満ちて月にまみゆる桜かな

² 遠山の白雪みゆる桜かな ² 昼は鳥夜は猫鳴く桜かな

² その中に一本若き桜かな ² また一つ篝の消ゆる桜かな

² 今はもう住めば都の桜かな ² この先は闇へと続く桜かな

²  ダム湖から水の落ち行く桜かな ² いつせいに水面へと散る桜かな

²  朝方の雨の上りし桜かな ² 花びらが花びらを追ふ桜かな

² アスファルト乾き初めたる桜かな ² 女房も一つ年取る桜かな

² 村々の小学校の桜かな ² 破裂して風船消ゆる桜かな

² 長き枝の長きを枝垂れ桜かな

² 咲き満ちて降臨を待つ桜かな

² 尿して子らが逃げゆく桜かな